

要事前申込  
(詳細裏面)

# 公開講演会

## 作曲家古関裕而の音楽人生

### 人柄と作品

NHK 連続テレビ小説「エール」のモデルとなった作曲家古関裕而は、歌謡曲をはじめ、軍歌・校歌・社歌・団体歌・自治体歌など約 5,000 曲を残しました。その中には神奈川県とゆかりの深い曲もあります。

クラシックの作曲家を夢見た古関がどのように昭和を生きたのか。戦前・戦中・戦後と大衆の「応援歌」を作り続けた古関の人柄と足跡をたどります。

◇日時：令和 2 年 10 月 31 日(土) 午後 4 時～5 時 (開場は午後 3 時 45 分)

◇会場：横浜市大倉山記念館 ホール

横浜市港北区大倉山二丁目 10-1 大倉山公園内 (東急東横線大倉山駅下車徒歩 7 分)

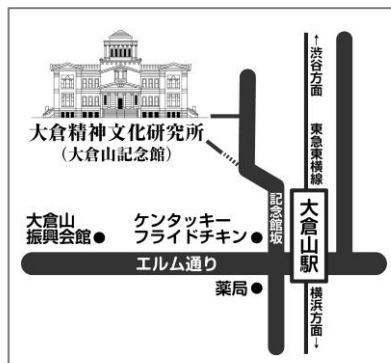
◇講師：<sup>おさかべ</sup>刑部 <sup>よしのり</sup>芳則 (日本大学准教授・当研究所客員研究員)

◇定員：40 名 (入場無料、**要申込**・**先着順**)

◇申込方法：E-mail または FAX、詳細は裏面をご覧ください

E-mail okuraseishinbunka@js6.so-net.ne.jp

FAX 045-542-0051



主催：公益財団法人大倉精神文化研究所 共催：第 36 回大倉山秋の芸術祭実行委員会

- ・ご来場の際は、マスクをご着用下さいますようお願いいたします。
- ・本講演会は新型コロナウイルスの感染状況により、中止または内容が変更になる場合があります。